

標準作型

○印・播種(種まき) □印・収穫

作 型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露 地									○	○		

栽培のポイント

土壌が酸性になると根こぶ病が発生しやすくなるので、苦土石灰で酸性土壌を矯正する。冬の寒害に弱いので、日当たりのよい暖かい場所を選ぶ。

畑の準備 排水のよい圃場を選ぶ。  
播種の2週間前までに苦土石灰(10kg/a)、堆肥(100kg/a)を施しておく。

元 肥 元肥は、1a当たりチツソ・リンサン・カリそれぞれ1.5~2.0kg程度とし、播種の1週間前から10日前に行う。

(1aあたり使用量)

ジシアン有機化成S806号	20kg	播種・定植前
---------------	------	--------

播 種 (種まき) 条まきか点まき。点まきの場合は、株間15~30㌢で一箇所2~3粒まきでうねは条間60㌢、高さ20㌢程度とする。

間 引 き 1回目の間引きは播種後2週間目、2回目は4週間目に行い、一本立ちにする。

追 肥 追肥は年内取りの早生種ではしない。  
早春取りは11月中下旬に1回行う。1aあたり窒素0.5kg程度。

(1aあたり使用量)

NK化成2号	3kg	11月中下旬
--------	-----	--------

収 穫 花蕾がふくらみ開花直前のものを先端から12~15㌢くらいのところで摘み取る。側枝を収穫するときは、葉を1~2枚残して収穫し、孫枝の発生を促す。